

補正 巨額軍事費が常態化

長射程ミサイルや米軍再編

10月に閣議決定された2023年度補正予算案は、「賃上げ、経済対策」をうたいながら、軍事費8130億円を計上しました。補正規模としては過去最大。

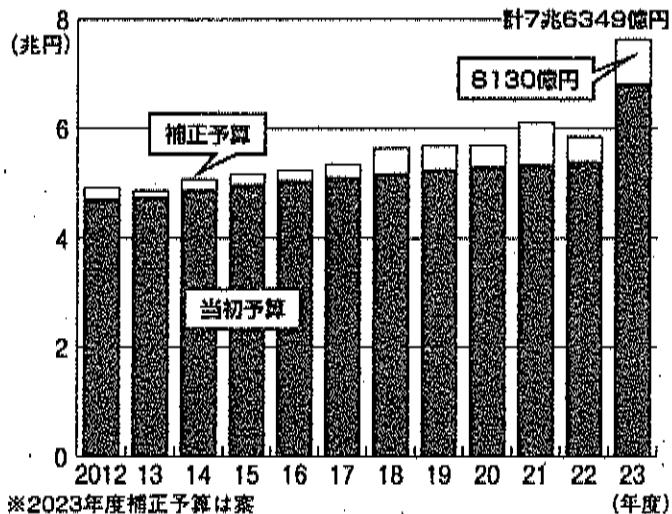
当初予算と合わせると、7兆6349億円になります。

財政法は、補正予算について災害や景気対策など「特に緊要な支出」に限つており、

敵基地攻撃能力（反撃能力）として運用される長射程ミサイルの開発費（1兆400億円）を盛り込みました。木

原稔防衛相は國産ミサイルの配備前倒しを検討するよう指示しており、射程を1000キロに延ばす「12式地対艦誘導弾能力向上型」や「島しょ防衛用高速滑空弾」の開発を加速させる狙いです。

補正予算を含む軍事費の推移



*2023年度補正予算は案

同法の趣旨に反しまる馬毛島（鹿児島県西之表市）の整備費に2すが巨額の軍事費計上が常態化していくます。敵基地攻撃能力（反撃能力）として運用される長射程ミサイルの開発費（1兆400億円）を盛り込みました。木原稔防衛相は國産ミサイルの配備前倒しを検討するよう指示しており、射程を1000キロに延ばす「12式地対艦誘導弾能力向上型」や「島しょ防衛用高速滑空弾」の開発を加速させる狙いです。

米軍再編総費は3169億円でした。米空母艦載機離着陸訓練（FCUP）を移転する狙いです。さ

る馬毛島（鹿児島県西之表市）の整備費に2

684億円を盛り込みま

した。同経費は22年

度以降で計1058億

円も積みあがってお

ります。

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設に320億円を充てます。同基地をめぐって沖縄県と国が係争中であるにもかかわらず、補正予算を組んでまで基地建設を加速させるのは、「反対しても断固進める」という政権の強硬姿勢を示すことが狙いとみられます。さ

県宜野湾市）の「早期返還」「危険性除去」を書しながら、同基地の補修事業に12億円も計上しています。

【災害対処能力の強化】を名目に、県宮佐賀（佐賀市）に陸上自衛隊のオスプレイ

を配備するための施設整備費として1124億円を盛り込みました。同機は木更津駐屯地（千葉県木更津市）に暫定配備されており、25年7月までの移

転を目指して、駐屯地を新設する計画ですか。

を配備するための施設整備費として1124億円を盛り込みました。同機は木更津駐屯地（千葉県木更津市）に暫定配備されており、25年7月までの移転を目指して、駐屯地を新設する計画ですか。